

令和8年度 全国学力・学習状況調査 新川中央小学校の結果

	本校の概要【領域】	今回の調査における課題	改善の方向
国語	◇言葉の特徴や使い方に関する事項 ・下回っている。	➤学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	➤同じ部分をもつ漢字に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う学習活動の充実。
	◇情報の扱い方に関する事項 ・下回っている。	➤情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	➤情報を読み取ったり、図などを利用して関係を表したりするなど、情報を整理する学習活動の充実。
	◇我が国の言語文化に関する事項 ・対象問題なし	➤	➤
	◇話すこと・聞くこと ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	➤資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	➤聞き手がもつ興味・関心や情報量を予想して資料の優先順位等を検討したり、聞き手の反応に応じて、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする学習活動の充実。
	◇書くこと ・下回っている。	➤引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	➤書いた文章を他者と読み合い、自分の考えを伝えるために取り上げた事実が適切であるか、引用部分と自分の意見の明確な区別があるかを確認する学習活動の充実。
算数	◇読むこと ・下回っている。	➤文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	➤筆者の主張や論理構成を読み解いたり、思考ツールで自分の考えを整理したり、意見を文章や対話で表現・共有したりする学習活動の充実。
	本校の概要【領域】	今回の調査における課題	改善の方向
	◇数と計算 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	➤整数と小数の減法を正確に計算すること。	➤位取りの確認や小数点の位置をそろえる筆算の習得、『.0』を補う手続きの理解などを進める学習活動の充実。
	◇図形 ・下回っている。	➤立方体の体積の計算による求め方について理解すること。	➤体積の普遍的な意味に基づき、既習の直方体の体積の求め方と関連付ける学習活動の充実。
	◇測定 ・上回っている。	➤示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。	➤情報を図や表に整理したり、『単位量あたりの大きさ（速さ）』、『比例・反比例』の関係を適用したりする学習活動の充実。
算数	◇変化と関係 ・ほぼ同程度。	➤百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。	➤割合と比較量、基準量の関係性を『線分図』で視覚化したり、言葉の式や文字の式を使って逆算したりする学習活動の充実。
	◇データの活用 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	➤二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。	➤縦・横・交点・合計などの表の構造を理解し、表とグラフを相互に行き来し見比べるなどの学習活動の充実。

理 科	本校の概要【領域】	今回の調査における課題	改善の方向
	今年度は調査を実施していません。		
児 童 質 問 紙 よ り	【全国平均より肯定的な回答が上回っている項目】 《学習に関すること》 ◇国語の勉強が好き、英語の勉強が得意・好き ◇将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい ⇒言語的な内容、外国語に興味をもつ児童が多く、楽しんで学習に取り組むことができていることが伺えます。 ◇学校の勉強のことについて親や家族がよく話をしてくれる ◇授業やテストで間違えたところ、理解していないところを先生が分かるまで教えてくれている ⇒児童たちは、家庭でも学校でも勉強について相談できたり、教えてくれたりする大人がいると感じていることが伺えます。		
	【全国平均より肯定的な回答が下回っている項目】 《学習に関すること》 ◇算数の勉強が好き・得意 ◇算数の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える ◇算数でどのように考えたかについて説明する活動をよく行った ◇話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする ◇友達や周りの人と協力しながら課題の解決に取り組んでいる ⇒算数をはじめ、様々な教科・場面での協働的な学習を通して、仲間と力を合わせて課題を解決したり、学びを深めたりすることの楽しさが感じられるようにしていくことが、これからの課題と見ることができます。		
	《生活に関すること》 ◇毎日、同じくらいの時刻に寝ている ◇毎日、朝食を食べている ⇒就寝時間・朝食を摂るといった規則正しい生活のリズムが全国平均より低くなっています。		
	【全国平均との比較から見える児童たちの様子】 ◇困りごとがある時に、先生や学校にいる大人に相談できる →全国平均より肯定的な回答が上回っている ◇自分にはよいところがある ◇友達関係に満足している →全国平均より肯定的な回答が下回っている ⇒教職員との関係においては、おおむね良好に過ごすことができている児童が多いようです。一方で、自身のことや友達のことに関しては、不安を抱えている児童がいるようです。学校生活における仲間との交流を通して、学校が児童たちにとって「自分が友達からも、大人からも大切にされている」と思える場になるよう努めていきます。		

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています】

- ・ + 3. 1ポイント以上 … 「上回っている」
- ・ + 3. 0ポイントの範囲内で全国平均を上回っている … 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ … 「ほぼ同程度」
- ・ - 3. 0ポイントの範囲内で全国平均を下回っている … 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ - 3. 1ポイント以下 … 「全国平均を下回っている」